

[xtech.nikkei.com](https://xtech.nikkei.com)

## 前田建設持ち株会社が東洋建設にTOB、完全子会社化で上場廃止

日経クロステック(xTECH)

全888文字

前田建設工業などを傘下に持つインフロニア・ホールディングス(以下、インフロニアHD)は2022年3月22日、東洋建設に対して完全子会社化を目的としたTOB(株式公開買い付け)を実施すると発表した。TOBの成立後、東洋建設の上場は廃止される予定だ。官民連携やグループ全体のDX(デジタルトランスフォーメーション)などでシナジーを見込む。

株式公開買い付け後の新体制のイメージ(資料:インフロニア・ホールディングス)

[画像のクリックで拡大表示]

インフロニアHDは、前田建設と前田道路、前田製作所の3社が経営統合し、21年10月1日に発足した共同持ち株会社だ。前田建設は02年7月、東洋建設と業務提携を締結。03年10月に東洋建設を持ち分法適用会社とした。21年12月末時点で、前田建設は東洋建設の株式の20.19%を所有する筆頭株主だ。

インフロニアHDは東洋建設の株式を1株770円で買い付ける。約4383万株を買い付け予定数の下限に設定。TOBへの応募総数が下限以上の場合、全ての株式を買い取る予定で、取得額は579億円に達する。下限に満たず、TOBが不成立だった場合は買い付けを実施しない。

買い付け期間は22年3月23日から5月9日まで。東洋建設はTOBに賛同し、同社の株主に応募を推奨している。

この記事は有料会員限定です。次ページでログインまたはお申し込みください。

[次ページ 単独では課題解決が困難](#)

- 1
- [2](#)
-